

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	相模原市中央区共和 Sマシヨウ新築工事	階数	地上5F
建設地	相模原市中央区共和四丁目1894-1、-4、-5	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	85人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年5月 予定	評価の実施日	2014年6月26日
敷地面積	1,936 m ²	作成者	株式会社イヅミシステム設計
建築面積	564 m ²	確認日	2014年6月26日
延床面積	2,218 m ²	確認者	平成総研 一級建築士事務所 厚木支店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
外観として、全体的に淡い色調の外装材を使用し、街並みに対して圧迫感のない計画とした。	相模原市景観条例に適用した建物としている。
Q1 室内環境 共用部(エントランス)を専有部から離して計画することで、開口部の多い明るいエントランスとした。 また、内装材はFを使用し、シックハウス対策に配慮した。	Q2 サービス性能 外装材をタイル仕上げとし、維持管理の容易性を高めた。 また、ゴミ置場を専有部から離すことで、居住環境にも配慮した。
Q3 室外環境(敷地内) 自主管理広場を設置し、建物利用者や地域住民が自然とふれあえるように配慮した。	LR1 エネルギー 全ての建物が外皮に2方向以上面するよう計画し、自然換気を活用できるように配慮した。
LR2 資源・マテリアル ノンフロン断熱材を使用し、地球温暖化対策に配慮した。	LR3 敷地外環境 広告物照明がなく、外に漏れる光に対して配慮した。 また、十分な駐車スペースを確保することで、周辺の交通量抑制にも配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される